

1

2

3

4

5

6

A

B

C

D

1

2

3

4

5

6

日本ITストラテジスト協会 北海道支部

情報処理技術者試験のITストラテジスト資格保持者と資格取得を目指す人が、参加しているコミュニティです。

IT業界が抱える様々な課題を解決すべく、相互研鑽と情報発信を進めています。

情報: <https://www.jista.org/>
(日本ITストラテジスト協会)、
<https://www.facebook.com/jista.hokkaido/>
(北海道支部)

定期開催: 偶数月第3木曜日を中心に定例会・勉強会を開催(現在はオンライン中心)

これから: 2022/09 ITC札幌&ITストラテジスト協会北海道支部オープンセミナーを開催予定

タグ: 情報処理技術者試験、ITストラテジスト、JISTA

RPA Community
RPACommunity札幌
RPACommunity苫小牧・千歳
RPACommunity北見
RPACommunity札幌女子部

RPA・自動化・業務改善・働き方改革に興味のあるメンバーで構成！RPA業界では初の完全な「ユーザー主体」コミュニティです。

北海道4支部は「北海道を盛り上げたい！」という熱い想いで活動しています。

IT初心者でも、非エンジニアでも参加しやすいコミュニティです。ぜひ一度ご参加ください。

情報: <https://rpacommunity.connpass.com/>
<https://twitter.com/CommunityRpa>
<https://twitter.com/CharaDenMitz>
RPACommunity主催
コミュニティプロデューサー Mitz
RPACommunity札幌、苫小牧・千歳主催
A(らむだ)

コンタクト: <https://forms.gle/Yuy3uiRSjsgueCZP8>

タグ: RPA/自動化/業務改善/働き方改革/コミュニティ

これから: 22/07『RPALT北海道スペシャルvol.03』開催予定

FuraIT

北海道富良野市で活動しています。内容は特にこれといって固定化されていませんが、電子工作、U-16プログラミングコンテストに向けた富良野圏域小中学生への教室開催、毎月どこかの金曜の夜にfuelと名付けたもくもく会を行っています。観光を兼ねて富良野までお越しになりませんか？お待ちしております。

2022/06/16(木)に、『FuraIT.fuel #41 ハイブリットなもくもく会』を開催しました。

情報: <http://furait.info/> (代表: 鶴田 基)
タグ: 富良野、電子工作、U-16プロコン、勉強会兼観光

ゆるい勉強会@旭川

北海道旭川市で活動しています。内容はグラフィック、働き方、電子工作、プログラミングなどなんでもありで自由です。現在は学生中心で活動しており、型にははまらず、発表しやすい雰囲気作りを心がけています。

不定期開催ですが、最近は2ヶ月に一度開催しています。発表大歓迎です。皆様のご登壇をお待ちしております。

2022/05/15(日)に『ゆるくはじめよう@旭川』を開催しました。

情報: <https://asahikawa.connpass.com/>
<https://www.facebook.com/yuruasa/>
(共同代表: 橋山 哲弘、宮前 佑矢)

タグ: aosc

LOCAL学生部

北海道でIT系の勉強をしている学生の交流と、互いの技術の向上を目指して活動をしています。現在は室蘭工業大学とはこだて未来大学の学生を中心に、学校の枠を越えた勉強会を開催しています。過去の総大会では、ハッカソンや同人誌の執筆を行いました。

情報: <http://students.local.or.jp/>
(代表者: @inoma・@kozyonikki)

タグ: 学生

はこだてIKA

道南地区のIT企業、ITに関わる技術者、学生によって運営され、IT産業の活性化、ITによる産業の活性化、技術・知識の普及、技術者の育成を目指して活動する任意団体です。新しい技術、動向を積極的に取り込み、基礎的な技術を若い世代へ継承していくためのコミュニティを目指しています。

情報: <http://hakoika.jp>(代表者: 代表: 市村 淳一)
これから: 年度内に「HAKODATE Developer Conference」を開催予定
タグ: 技術継承, 技術教育, JAWS-UG

北大IT研究会(HUIT)

北大のインカレ ITサークルです。Web・AI・VR・CG・アプリ・競プロ・ブロックチェーン・低レイヤ・ハードウェアなど様々なことに興味を持ったメンバーが所属しており、みんなで一緒に勉強したり開発してます。また、LT会や勉強会、ハッカソンなどのイベントも充実しており、企業さんと合同でイベント開催することもあります。

このようにHUIT内のイベントで盛り上がるのはもちろんのこと、外部の大会・コンテストにもサークル内でチームを組んで積極的に参加しています！

未経験からでも圧倒的成長することができ、強い人にもチーム開発の経験を積めたり議論を交わしあえるというような魅力的なサークルにすることを目標に、大学生のIT系活動をさらに活発にしていきます！

情報: <https://twitter.com/huitgroup>
定期開催: 毎週金曜日にLT会や勉強会を開催
タグ: Web, AI, VR, CG, アプリ, 競プロ, ブロックチェーン, 低レイヤ, ハードウェア

IT全般

北海道 ITコミュニティ・ITイベントガイド

『北海道 ITコミュニティ・ITイベント ガイド』は、道内で活動しているITコミュニティや、開催されているITイベントをご紹介しますフリーペーパーです。

--- Page. 01 ---

今年のガイド

- 昨年に引き続き、OSC2022北海道実行委員会が実施した、道内コミュニティの活動実態アンケートのサマリーを掲載しました。(p.6 ~ p.7)
- 『ITコミュニティ・ITイベントガイド』を発行している一般社団法人LOCALと、その活動についてのご紹介を掲載しました。(p.8)
- 文字フォント、および、情報枠のサイズを大きくしました。
- 本資料の情報は、2022年6月中旬までに、各コミュニティから提供された情報をもとに編集しました。最新の情報は、各コミュニティのWebなどをご覧ください。
- 今年も、多くのコミュニティのみなさまから情報提供をいただきました。ありがとうございます。
- 本ガイドは、「情報の改変を行わない」という条件の下、自由に複製を作って配布していただけます。印刷用のPDFは、下のURL、もしくは右のQRコードにあるリンクからダウンロードできます。 <http://www.local.or.jp/about/community>



A

B

C

D

1

2

3

4

5

6

Japan Backlog User Group (JBUG札幌)

Backlogユーザーによるコミュニティです。
プロジェクト管理は、全ての業種/職種において必須のスキルである一方、そのノウハウが学べる場はあまり多くありません。
Backlogは国内最大級のプロジェクト管理ツールであり、すでに100万人を超えるユーザーがいることから、「プロジェクト管理」「仕事のうまい進め方」に関する知識やテクニック、ノウハウを学び合うことをねらいとして、JBUGが発足されました。
Backlogの話題だけではなく、マネジメントに関する話題にもすそ野を広げて情報交換を行っています。
実体験から学んだ知見やノウハウのシェアを通し、より「働くを楽しくする」を実現したいと思っています。

情報: <https://jbug.connpass.com/> ,
<https://jbug.info/backlogworld2020/>
コンタクト: jbug.sapporo.info@gmail.com
タグ: JBUG, JBUG札幌

sapporo.apk

札幌のAndroid開発者コミュニティです。Web系に比べ、人口の少ないAndroidエンジニアが緩く繋がる場をモットーに、奇数月に勉強会を開催しています。

情報: <https://sapporo-apk.connpass.com>
これから: 2021年から2022年にかけて、“Android Codelab Tour”の#2～#8を開催予定。
タグ: Android, Kotlin, Java, Google, firebase, ReactNative, Flutter

Test Engineer's Forum 北海道
(TEF道:てふうど)

三度の飯よりソフトウェアテストが大好き!!ソフトウェアのテストを中心として、ソフトウェアテストの勉強会、ワークショップの開催にとどまらず、良いソフトを作るための技術やノウハウの共有、ときには研究っぽいことをやってみて論文提出など、いろいろやっています。

情報: https://www.kokuchpro.com/group/tef_do ,
<https://www.slideshare.net/tef-do>
タグ: tefdo

アジャイル札幌

アジャイルについてアツく話し合い、実際に手を動かして体験しながら学ぶ場です。札幌でアジャイルに関する活動を行い、私たちが参加したいと思える勉強会を開催しています。最近は「スクラムナイト」や「やさしいテスト」など参加しやすく、手を動かせるイベントを多めに開催しています。
2022/03/05(土)に『アジャイルジャパン2021-札幌サテライト』をオンラインで、2022/03/15(土)には『やさしいテスト(初心者向け)』を開催しました。
今年は、2022/11/03～05に、3回目となる『スクラムフェス札幌2022』の開催を予定しています。

情報: <https://agilesapporo.doorkeeper.jp/>
コンタクト: agilesapporo@gmail.com
(代表者: 代表: 根本紀之)
これから: 2022/11/03(木・祝)～05(土):
スクラムフェス札幌2022を開催予定。
タグ: アジャイル, スクラム, 開発, チーム, 改善

iPhone Dev Sapporo (DevSap)

札幌圏で活動する iOS アプリ開発者コミュニティ。iOS SDK / マルチプラットフォーム開発環境 / ゲームエンジン / UIデザイン / マネタイズなど、iOSアプリ開発にまつわることならなんでもOKな勉強会を定期的に開催しています。また、最近は有志によるFlutter早朝勉強会もおこなわれています。(現在は全てオンライン開催です)

情報: <https://devsap.connpass.com>
タグ: iOS, Apple, Swift, Objective-C, 言語, ゲーム, マネタイズ, 広告

WEB / CMS

ゆるWeb勉強会@札幌
(ゆるWeb / ゆるWeb札幌)

主に「Web」というキーワードに関する、ゆるい勉強会です。
学生の方も、プログラムを始めたばかりの方も、仕事でバリバリやっている方も、どなたでも歓迎です!
仕事・趣味を問わず、普段の仕事の内容も問わず、「Web系」に関することを、ゆるっとみんなで話しあう・伝えあう勉強会となります。
2022/04/25(月)に、『ゆるWeb勉強会@札幌 OnLine #18』を開催しました。

情報: <https://meetup.tacck.net/> ,
<https://mild-web-sap.connpass.com/>
コンタクト: Twitter: @tacck →DM
Email: meetup@tacck.net
これから: 22/06/27(月)
『ゆるWeb勉強会@札幌 OnLine #19』
タグ: Web, 初心者向け, 開発

v-sapporo

札幌のVue.jsにまつわるコミュニティです。
開催している主なイベントは「Vue.js / Nuxt.jsもくもく会」と「v-sapporo MeetUp」です。
Vue.jsに興味のある方でしたらどなたでもお気軽に勉強会、コミュニティにご参加ください。
勉強会はコロナ禍の為、しばらくの間お休みさせていただいております。

情報: <https://v-sapporo.connpass.com/>
コンタクト: 勉強会の問い合わせフォーム
Twitterの@noliaki(山田典明)
もしくは @nagasawaaaaa(長澤賢)へDM
定期開催: 現在、勉強会はお休み中
タグ: Vue.js, Nuxt.js, JavaScript, フレームワーク, もくもく会, 初心者向け

サッポロ電子クラフト部

ものづくりに興味があるが、自分の技術だけでは足りない、アイデアがない、時間が取れないなどでも、仲間と一緒にアイデアも実現できます。サッポロ電子クラフト部は、ものづくりに興味がある人々が集まり、アイデアをグループに分かれて実現する活動です。活動内で製作した作品は、イベントなどに出席して来場者に作品を見てもらいます。
現在、COVID-19の影響で活動を控えていますが、再開時期が決まり次第、Webページで告知予定です。

情報: <https://sapporo-elec.com/>
タグ: 電子工作

ものづくり

北海道
ITコミュニティ・ITイベントガイド

『北海道 ITコミュニティ・ITイベント ガイド』は、道内で活動しているITコミュニティや、開催されているITイベントをご紹介しますフリーペーパーです。

--- Page. 02 ---

○ 情報について

本ガイドは、2022年6月下旬までに各コミュニティから提供された情報を元に編集しました。作成後に情報が変更されている可能性がありますので、最新の情報は、WEBなどの情報をご確認ください。

○ 配布について

本ガイドは、「情報の改変を行わない」という条件の下、自由に複製を作って配布していただけます。
印刷用のPDFは、下のURL、もしくは右のQRコードにあるリンクからダウンロードできます。



<http://www.local.or.jp/about/community>

A

B

C

D

1

2

3

4

5

6

A

B

C

D

1

2

3

4

5

6

CoderDojo 札幌 x 札幌東 x 恵庭

CoderDojoはボランティアベースの子どものための無料のプログラミング道場です。世界117カ国・2,200以上の道場が活動しており、日本には208カ所の道場があります。道央圏の道場は、CoderDojo 札幌、札幌東、恵庭、江別の4道場があり、現在はコロナ禍でイベントを休止している道場もありますが、状況を見ながら順次再開していきます。

CoderDojoの子どもたちはカリキュラムに縛られず、やりたいことをメンターのサポートを受けながら主体的に学ぶのが特徴です。メンターは世代、職種、経験など多種多様、道場は学びだけでなく、子どもから大人までコミュニケーションや情報交換の場でもあります。

ご興味のある方、ご自身の好きなこと得意なことをボランティア活動に活かしてみたい方、子どもたちにインスピレーションを与えるような自分自慢も歓迎です。私たちと一緒に楽しんでみませんか。

情報: [札幌] <http://coderdojo-sapporo.jp>

[札幌東] <https://coderdojo-sapporo-east.blogspot.jp>

[恵庭] <https://coderdojo-eniwa.fathercomputer.com>

[江別] <https://coderdojo-ebetsu.connpass.com/>

定期開催: 隔週末開催予定。

(オンライン開催を含め詳細は、情報欄URL参照)

タグ: プログラミング, CoderDojo, 教育, ボランティア

プログラミング クラブ 札幌(PCN札幌)

「子どもたちに、プログラミングを学ぶ場を提供することで、ICTリテラシーの向上と、ものづくりへの関心を高め、ひいては地域人材の育成に寄与する」という主旨で全国展開する「プログラミングクラブネットワーク(PCN)」のメンバーとして、札幌市および近郊の小中学生を対象に、プログラミング体験や継続的学習の場を提供しています。

情報: <http://sapporo.pcn.club/> (代表: 吉田 博紀)

タグ: 小学生, 中学生, 教育

高校生ICTカンファレンス

ICT利用の様々な側面をテーマに「考え」「まとめ」「聞き」「話し」「見せ」「伝える」技術の実体験、および修練を目的として、2011年に大阪で始まったイベント。内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁の共催を得て、全国17拠点128校526人(2017年)で開催されています。

情報: <https://www.good-net.jp/ict-conference/>

タグ: 高校生, 教育

TEAM IchigoJam ほっかいどう

2015年から子どもパソコンIchigoJamを活用してプログラミング講座を札幌近郊や北海道内一円で開催している運営スタッフの会です。エンジニアやプログラマースタッフによるハード教材づくりも行い、子どもたちにモノづくりとコンピューターの関りと面白さを伝える活動をしています。IchigoJamはセンサー制御やロボットカー、さらにI2CやJavaScriptなどとの組み合わせで、大人でも楽しむことができます。運営スタッフを募集しています。Facebookグループにご参加ください。

2022/05/28(土)~29(日)に、『鉄道模型プログラミング体験講座』を開催しました。

情報: <https://nextday-kids.com/>

タグ: 教育, 初等中等教育, IchigoJam, ハードウェア

ちとせプログラミング教室

北海道千歳市や近隣市町村の小学生~高校生を対象に、プログラミング教室を開催しています。初心者や興味のある子どもたちがプログラミングの考え方に触れられる体験会と、本格的に挑戦したい子どもたちが学べる定期的な教室を企画しています。

情報: <https://te-chitose.connpass.com/>

タグ: プログラミング入門, 初等中等教育支援, codeSpark Academy, Ozobot, micro:bit

教育

北海道 June, 2022 ITコミュニティ・ITイベントガイド

『北海道 ITコミュニティ・ITイベント ガイド』は、道内で活動しているITコミュニティや、開催されているITイベントをご紹介しますフリーペーパーです。

--- Page. 03 ---

ロボット

ET ロボコン北海道地区実行委員会

世界をリードするエンジニアの育成を目指し、若手、初級エンジニア、および中級エンジニア向けに、分析・設計モデリング開発、製品サービスの企画開発にチャレンジする機会を提供します。毎年秋に道内で地区大会を開催しています。

2022年の実施については、情報欄URLを参照ください。

情報: <https://www.etrobo.jp/category/reports/hokkaido/>

タグ: 組み込みソフトウェア, モデリング, ロボット

スマートスピーカーで遊ぼう会@札幌 (スマスピ札幌)

スマートスピーカーを使って、楽しいことをやる勉強会です。スマートスピーカー各種の使い方を試したり、スキルを使って遊んだりしていきます。また、もくもく会ベースでのスキル開発もやっていきます。

情報: <https://meetup.tacck.net/>

コンタクト: Twitter: @tacck へDM /

Email: meetup@tacck.net

タグ: スマートスピーカー, 初心者向け

IoT

U-16プログラミングコンテスト

2010年に旭川で始まった16歳以下を対象としたプログラミングコンテストです。翌年に釧路で、その後帯広でも開催されるようになり、2018年からは札幌でも開催されています。また、全道各地の上位陣が集まり全道大会も行っています。

コンテストは競技部門と作品部門の2部門で行われますが、競技部門は対戦型ゲームのキャラクターを参加者が事前にプログラミングし競技に参加します。作品部門はデジタル作品であればどんなものでも参加できます。

このコンテストをとおして、パソコンが好きな子どもたちの夢や目標となる場所を提供し、情報技術のプロに作品を評価されることで、子供たちの健全育成と将来のIT技術者を育てることを目的としています。

情報: [全道・旭川] <http://www.procon-asahikawa.org/>

[釧路] <https://u16procon-kushiro.qloba.com/>

[札幌] <http://sapporo.u16procon.org/>

これから: 2022/10/23(日)

第12回 U-16プログラミングコンテスト函館

2022/11/03(木・祝)

第12回 U-16旭川プログラミングコンテスト

2022/11/03(木・祝)

第12回 U-16旭川プログラミングコンテスト

2022/11/27(日)

U-16プログラミングコンテスト札幌大会

2022/12/18(日)

第9回 U-16プログラミングコンテスト北海道大会

& U-16プログラミングコンテストプレ全国大会

タグ: U16, 教育

IoT札幌

関東の大規模イベントIoTTLTの札幌版です。IoTに関連する知識・技術・事例・ビジネスは幅広く、アイデアやインスピレーションも重要です。ソフトウェア・ハードウェア、年齢や習熟度を問わず、IoTに関する知識・作品・事例・挑戦について、ライトニングトークで楽しく情報共有や発信をしませんか？

情報: <https://www.facebook.com/groups/iotlt.sapporo/>

タグ: IoT, ソフトウェア, ハードウェア, クラウド, 電子工作, ライトニングトーク

A

B

C

D

1

2

3

4

5

6

1

北海道地域情報セキュリティ連絡会 (HAISL)

北海道における情報セキュリティ意識の向上と人材の育成を目的として、産（企業）学（学識）官（自治体等）が連携して情報を共有し、勉強会の開催や情報発信などの活動を行う会です。行政三者（総務省、経済産業省、警察）が事務局を務める特徴のある会で企業、団体の他、個人の参加も可能です。

2022/06/24(金)に、『第18回 北海道地域情報セキュリティ連絡会』および、『HAISLサイバーセキュリティセミナー』を開催しました。

情報: <https://www.facebook.com/haisl0929/>
これから: 2022年度SC4Y(Security College for Youth)の開催を予定しています。概要、開催計画などは、HAISLのFacebookページを参照ください。
タグ: セキュリティ

2

3

4

5

6

A

B

C

D

セキュリティミニキャンプ in 北海道

情報セキュリティ技術人材育成を目的とした、若年層対象の勉強会です。2日間かけて、第一線で活躍する技術者から、直接、レクチャーを受けることができます。

参加対象は、日本国内に居住する25歳以下の大学院生・学生・生徒。毎年開催されている「セキュリティキャンプ(全国大会)」にチャレンジするための知識を習得する場でもあります。北海道では、例年、秋に札幌で開催されます。

情報: <https://www.security-camp.or.jp/minicamp/index.html>
コンタクト: Twitter: @security_camp (タグは、#seccamp)
タグ: セキュリティ, 教育

LOCAL安全部

(一社)LOCALの部活動の一つとして、道内で情報セキュリティの啓発ができる講師の育成を目指し、情報セキュリティ関連の教材を用いた勉強やプレゼンテーション技術の習得などを行っています。また、一般の方(非IT系)を対象とする情報セキュリティ講座への講師派遣を通して、「学習」で立ち止まることなく「実践」を通したスキルアップも行っています。さらに、セキュリティミニキャンプなどの運営支援を通して、学生の育成にも力を入れています。

情報: <http://www.local.or.jp/clubs/anzen>
タグ: セキュリティ

セキュリティ

北海道情報セキュリティ勉強会（せきゅぽろ）

北海道において情報セキュリティの勉強会を定期的に開催することを目的としたIT勉強会コミュニティです。おいしいお菓子を食べながら、セキュリティ業界の第一線で活躍する講師陣から最新のセキュリティ技術や考え方を学ぶことができます。また、IPA インターネット安全教室の共催団体として、学校や一般の方を対象とした情報セキュリティ啓発活動も行っています。22/07/23(土)に、オンラインで"LOCAL Developer Day Online '22 /Security"を開催予定です。

情報: <http://secpolo.techtalk.jp/>
(代表: 八巻 正行)
コンタクト: Twitter: @yamaki_panda
これから: 22/09/04(土)
LOCAL Developer Day Online '22 /Security
タグ: セキュリティ

1

2

3

4

5

6

北海道 ITコミュニティ・ITイベントガイド

June, 2022

『北海道 ITコミュニティ・ITイベントガイド』は、道内で活動しているITコミュニティや、開催されているITイベントをご紹介しますフリーペーパーです。

--- Page. 04 ---

オープンデータ

一般社団法人 北海道オープンデータ推進協議会 (HODA)

自治体や民間企業等の持つデータをオープンデータとして再利用可能な形で公開し、一般市民が、それを用いて街づくりに便利なツールを自ら生み出せるようにし、これにより、IT 教育と自発性を高め、起業家精神を育み、ICT技術を用いた教育・産業を活性化することによって、街づくり、教育、産業の活性化に寄与することを目的とし、その目的の達成のために活動しています。

情報: <https://hoda.jp/>
コンタクト: info@hoda.jp
タグ: Python, RDF

○ 情報鮮度 ○

本資料は、2022年6月下旬までに各コミュニティから提供された情報を元に編集しました。作成後に情報が変更されている可能性がありますので、最新の情報は、WEBなどの情報をご確認ください。

シビックテック

Code for Sapporo

Code for Sapporoは札幌および周辺地域で起こっている課題を「コード」によって解決していくことをモットーに活動するITコミュニティです。函館、森町、室蘭で活動する各Code forブリゲイド、シビックテックコミュニティとも連携し、北海道のシビックテック活動を「ささやかに」推進していきます。2022/03/05(土)に、『インターナショナル・オープンデータ・デイ(IODD)2022札幌』をオンライン開催しました。

情報: <http://www.codeforsapporo.org/>
コンタクト: <http://www.codeforsapporo.org/about/> 内の問い合わせフォームから
タグ: シビックテック、オープンガバメント、オープンデータ

数学勉強会@札幌

大人のための数学勉強会です。使用する教科書は大学学部程度のレベルで参加者の合議で決めています。現在は「多様体の基礎」松本幸夫著を用いています。現在はオンラインで行っています。

情報: <https://sites.google.com/site/mathssapporo>
定期開催: 原則毎月曜 19:00-21:00 オンライン開催
(サイトに掲載のメーリングリストでお問い合わせください)
タグ: 数学

数学

Global Game Jam Sapporo

毎年1月に行われる大規模ゲームハッカソンの運営をしています。世界共通のテーマに沿って48時間以内でゲームを作るというエキサイティングな体験を是非!札幌会場では例年80人前後の参加をいただいております。公式サイトにて作品紹介もしていますので是非ともご覧くださいませ!

2022/01/28(金) ~ 2022/01/30(日)に、""GGJ Sapporo 2022""を開催しました。

情報: <http://ggjsap.juegos/>
タグ: ゲーム, ハッカソン

ゲーム

OS

情報: <http://www.no.bug.gr.jp/>
コンタクト: sasaki@tukusi.ne.jp
タグ: OS

A

B

C

D

言語

Javaエンジニアグループ北海道 (Java Do)

北海道のJavaユーザーグループです。Javaやフレームワーク、エコシステム、システム開発手法などをテーマとして、初心者向けや新しい技術の入門ハンズオンや、国内・海外のJavaエンジニアを招いた上級者向けの講演セッションなどの勉強会を開催しています。Javaを使っている皆さん、Javaに興味がある皆さん、面白そうと感じてくれた初心者・学生の皆さん、一緒に「Java、どうでしょう」！

情報: <https://javado.connpass.com/>

タグ: Java, Javaフレームワーク, Javaエコシステム, 開発手法

Python札幌(pysap)

札幌市周辺で活動するプログラミング言語Pythonのコミュニティです。業務でPythonを実際に活用している職業プログラマから、学生、初心者まで幅広く交流しています。現在は、年数回程度の発表形式の勉強会を中心に活動しています。

情報: <http://python-sapporo.github.io/>

タグ: 言語

Hokkaido.pm

北海道でのPerlユーザの交流を目的とした有志による技術コミュニティです。イベントは不定期開催ですが、プログラミング初学者向けのPerl入学式 in 札幌の運営をJPAの協力の下で行っております。

情報: <http://hokkaido.pm.org/> (代表: @aloelight)

タグ: 言語

サッポロビーム(Sapporo.beam)

ErlangのVM(BEAM)上で動作する言語(ErlangやElixir)に関する話題やそうでない話題について毎週水曜日19:00-22:00頃にお問い合わせの集まりです。現在は、オンラインで開催中。21/02には、通算350回を超えました。

詳しくはwebをみてね、やろう！

情報: <https://sapporo-beam.connpass.com/>

(代表: 、 (´・肉・`) ノ (にく))

定期開催: ほぼ毎週水曜日19:00～開催。

(詳細は、情報欄URL参照)

タグ: 言語

○ 名称インデックス

Code for Sapporo P.4-C5
 CoderDojo 札幌x札幌東x恵庭x江別 P.3-A1
 DevSap P.2-D3
 ET ロボコン北海道地区実行委員会 P.3-B5
 FuraiT P.1-B1
 Global Game Jam Sapporo P.4-A5
 HAISL P.4-A1
 HODA P.4-D4
 Hokkaido.pm P.5-B2
 IoTLT札幌 P.3-D5
 Java Do P.5-A2
 JBUG札幌 P.2-A1
 LOCAL P.5-A4
 LOCAL安全部 P.4-C1
 LOCAL学生部 P.1-D1
 NoBUG P.4-A3
 PCN札幌 P.3-A4
 pysap P.5-B1
 RPA Community P.1-A3
 sapporo.apk P.2-B1
 Sapporo.beam P.5-C1
 TEAM IchigoJam ほっかいどう P.3-B1
 TEF道 P.2-C1
 U-16プログラミングコンテスト P.3-D1
 v-sapporo P.2-B5
 アジャイル札幌 P.2-D1
 オープンソースカンファレンス北海道実行委員会 P.5-A6

高校生ICTカンファレンス P.3-A6
 サッポロ電子クラフト部 P.2-C5
 数学勉強会@札幌 P.4-B5
 スマートスピーカーで遊ぼう会@札幌 P.3-C4
 スマスピ札幌 P.3-C4
 せきゅぼろ P.4-D1
 セキュリティミニキャンプ in 北海道 P.4-B1
 ちとせプログラミング教室 P.3-C1
 日本ITストラテジスト協会 北海道支部 P.1-A1
 はこだてIKA P.1-D3
 北海道*BSDユーザーズグループ P.4-A3
 北海道地域情報セキュリティ連絡会 P.4-A1
 北海道オープンデータ推進協議会 P.4-D4
 北海道情報セキュリティ勉強会 P.4-D1
 ゆるWeb / ゆるWeb札幌 P.2-A4
 ゆるい勉強会@旭川 P.1-C1

一般社団法人LOCAL

北海道における技術系地域コミュニティの活動を支援するとともに、コミュニティ間の連携イベント企画開催等を通して、地域を盛り上げていくことを目標とする有志の集まりです。

URL: <http://www.local.or.jp/>

(代表理事: 澤田 周)

定期開催: 毎月第3水曜日に定例会を開催。

会員をはじめ、広く一般のみなさまにご参加いただけます。

Tag: コミュニティ、ITイベント、北海道

北海道 June, 2022
ITコミュニティ・ITイベントガイド

『北海道 ITコミュニティ・ITイベント ガイド』は、道内で活動しているITコミュニティや、開催されているITイベントをご紹介しますフリーペーパーです。

--- Page. 05 ---

コミュニティ・ハブ

オープンソースカンファレンス北海道
実行委員会

毎年開催されている(2022年は06/25(土)にオンラインで開催、)オープンソースカンファレンス北海道の企画、運営を担当するボランティアベースの委員会です。興味をお持ちの方であれば、社会人のみならず、学生の参加も歓迎です。

Tag: コミュニティ、ITイベント、北海道、OSC

○ 情報について

本ガイドは、2022年6月下旬までに各コミュニティから提供された情報を元に編集しました。作成後に情報が変更されている可能性がありますので、最新の情報は、WEBなどの情報をご確認ください。

○ 配布について

本ガイドは、「情報の改変を行わない」という条件の下、自由に複製を作って配布していただけます。印刷用のPDFは、下のURL、もしくは右のQRコードにあるリンクからダウンロードできます。

<http://www.local.or.jp/about/community>



○ グループ・インデックス

IoT P3
 IT全般 P1
 OS P4
 WEB / CMS P2
 オープンデータ P4
 開発/テクノロジー P2
 教育 P3
 ゲーム P4
 言語 P5
 コミュニティ・ハブ P5
 シビックテック P4
 数学 P4
 セキュリティ P4
 ものづくり P2
 ロボット P3

北海道ITコミュニティ・ITイベント ガイド 2022/06

(2022/06Published220624-03)

発行日: 2022年06月24日

企画・編集・発行: 一般社団法人 LOCAL/イベントクリップ



Article(1):About “Community”

2020年に続き、2021年も様々なコミュニティにとって模索の1年になりました。前年と同様にこうした状況の中における北海道内のコミュニティの活動状況や課題点、工夫している事項の共有を目的として、各コミュニティに協力をいただき、アンケートを実施しました。

・実施時期：2022年5月上旬～5月下旬 / 回答数：n=16

○ 全体の傾向

2021年のコミュニティ活動は前年と比較し活動の活発化が見られました。開催形式は依然としてオンラインが主体となっているものの、前年と比較するとハイブリッドやオフラインの開催にも取り組み始めている状況でした。

一方で、懇親会の開催や実施方法に関する模索は続いており、コミュニティの横のつながりを醸成することが困難となっている回答が見られました。

今後のコミュニティ活動では、オンライン、オフラインそれぞれを活用した「ハイブリッド開催」の意見が比較的多く挙げられ、オンライン、オフラインそれぞれの良さを取り入れた開催形態とその運用方法の模索へと関心が移ってきている結果となりました。

○ 活動状況

◇ 活動方式

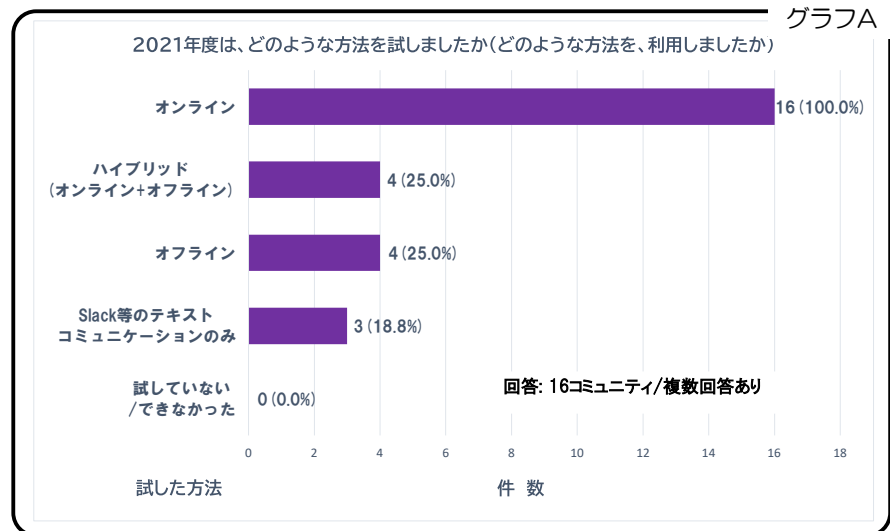
開催方式ではオンラインが100%となりました。一方で、前年は「オフライン」と回答したコミュニティが7.1%でしたが、今回のアンケートでは25%のコミュニティがオフラインの活動を行っている等の変化が見られました。

また、前年の活動では「試していない/できなかった」の回答が14.3%あったのに対して、今年は0%となっており、活動が安定化してきたと考えられます。(グラフA、および、グラフB参照)

◇ 活動量の変化

活動量は8割のコミュニティで前年と変化なし、または増加傾向と回答しており、全体的に活動が活発化した傾向にありました。増加の理由としては、「オンライン開催を主としているため気軽に参加が可能になった。」「2020年度の活動が極端に少なかったため、相対的に増加した」「オンラインの活動整備に時間がかかった」等が挙げられました。

グラフA



一方で活動量の減少に関しては、「コミュニティ内の世代間の引き継ぎが断絶し、活動量が減少傾向」「ワークショップメインだとオンラインでの活動が行いにくい」との意見が挙げられました。このワークショップに関する意見は前年も挙げられており、セミナー型のイベントとは異なる開催の難しさが考えられます。(グラフC参照)

「全国の勉強会やイベントがオンライン化することによって運営するコミュニティにどのような変化がありましたか」の設問においては、全国のコミュニティと連携したイベントが開催可能になった(開催した)の記載が9件あり、活動の活発化に寄与していると考えられます。しかし、イベントの開催増加に対して、参加者数は横ばいが最も多い回答となっています。(グラフD 参照)

◇ 活動の維持、活発化に関連する取り組み

活動の維持、活発化に関連する取り組みとしては以下が挙げられました。ある程度の間隔で集まる機会があることが継続した活動に繋がっていると考えられます。

- 参加者のニーズを捉えている
- イベントドリブンではなく、定例会をベースとした活動
- 2週間に1回、必ずオンラインでもくもく会を開催しているため、一定回数を行うことができた

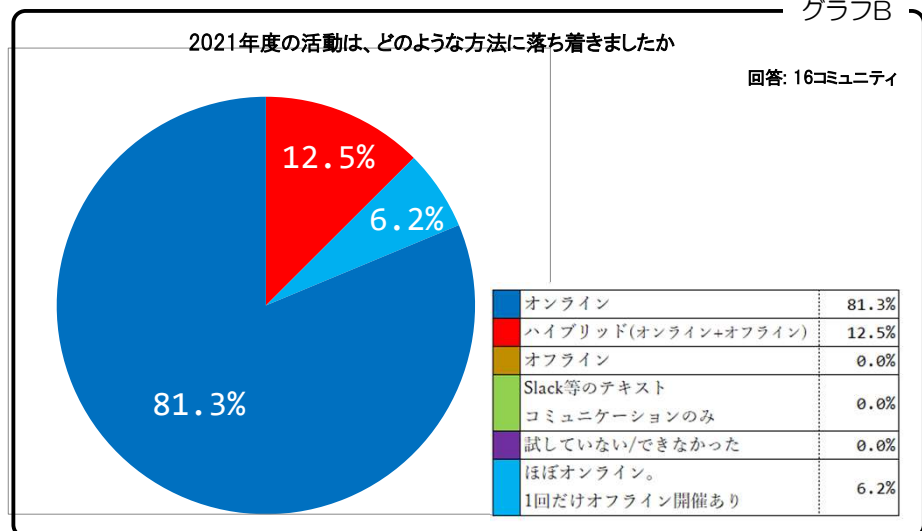
○ コミュニケーション

コミュニケーション方法・量の変化に関しては以下の意見が挙げられました。前年と比較した際にコミュニケーションの減少に関する意見は少なく、コミュニケーションも維持、増加の傾向が見られました。

前年のコミュニケーションに用いるオンラインツールの利用方法、整備の模索を行っていた状況からある程度整備が進んでおり、ツールを活用したより良いコミュニケーション方法を模索する状態へと変化していると考えられます。

- コミュニケーションの変化理由
- オンラインツールが整備されコミュニケーションが取りやすくなった。
- コミュニケーション重視のイベントとしているため。
- 主軸の活動に取り組むためにコミュニケーションが必須となり、必然的に維持されている。
- 参加者がオンライン形式のコミュニケーションに習熟してきた。

グラフB



北海道 ITコミュニティ・ITイベントガイド

June, 2022

--- Page. 06 ---

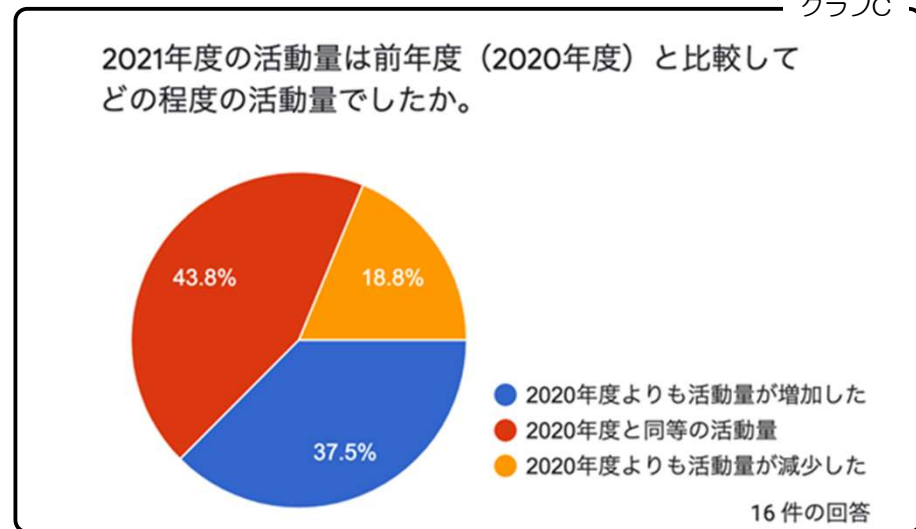
■ コミュニケーションの課題

- 最低限のコミュニケーションは維持できているが、それ以上の交流が難しい。新規入会者のオンボーディングが難しい。
- オンライン化で気軽に参加できるようになった反面で、オンサイトだからこそ可能な難易度の高いハズオンや交流がしづらくなり、ディープな話を聞きたい常連参加者は減ったように思える。
- オンライン形式でのイベント開催の場合、オンサイトのときと参加している層が異なる印象がある。

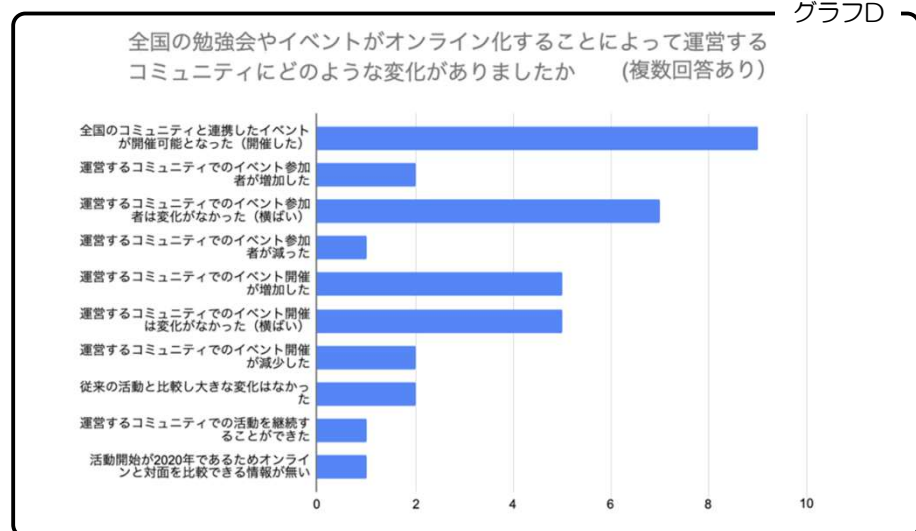
■ 運営とイベントのコミュニケーションに関するコメント

- 運営メンバー同士はSlackでコミュニケーションをとっていて、量はそこまで変化が無いと感じている。イベント参加者とは雑談ありのイベントとしているので、参加者とのコミュニケーションも取ることができている。

グラフC



グラフD



○ 懇親会・交流会の変化

前年に続き、懇親会や交流会に関する課題は多い状態です。「1回も懇親会を開催していない」「開催しても盛り上がらない」など、懇親会開催が減少していると考えられる。懇親会・交流会の開催が困難になった影響として「新しく会った人とのネットワーク作り」「距離を縮めること」が難しいといった意見も挙げられました。

一方で、オンライン化したことにより、遠く離れた土地でのイベントに幅広く参加可能になったという肯定的な意見も挙げられました。

前年と比べツールの整備や慣れは進んだものの、従来懇親会・交流会が担っていた横の繋がり、深い関係性の構築はオンラインだけでは難しいのではないかと考えられます。

○ イベントの利用ツール

オンラインイベントで様々なツールが利用されているが、どのようなツールを利用（運営・参加）しているかを確認したところ、主催/運営のツールとしてZoomとYouTubeの活用が多い結果となりました。（グラフEおよび、グラフF参照）

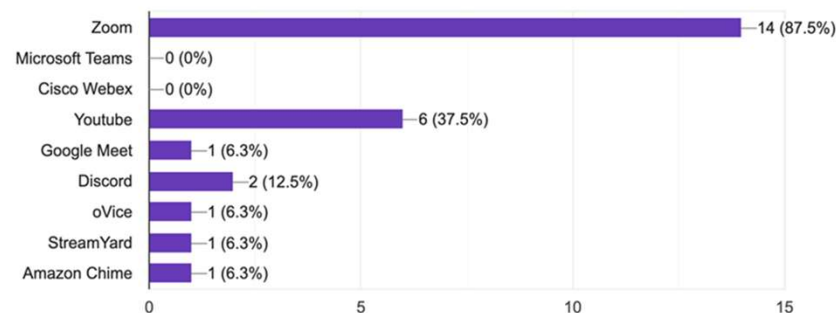
○ 今後の活動で挑戦していきたいこと・目指していきたいコミュニティの形

今後の活動では、北海道という広さを背景の一つとして、リモートを活用した遠隔地参加に関する意見が挙げられました。また、前年と比較すると今年はオフラインへの期待や、ハイブリッド開催に対する挑戦に関する意見が多く、ウィズ/アフターコロナに向けた関心に変化していると考えられます。

グラフE

オンラインイベントを主催/運営する際に利用しているツールを教えてください。

16件の回答



○ 頂いたご意見

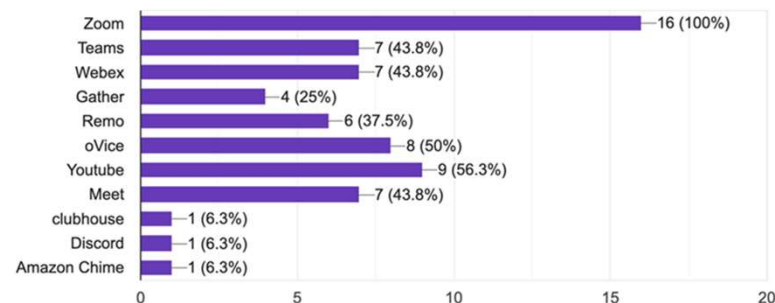
頂いたご意見を紹介します。

- これからも北海道のITコミュニティやITイベントを支援し続ける
- 北海道遠隔地からの参加も可能なので、オンラインの手段は維持すべきだと考えます。
- 札幌近郊が拠点となってしまいがちであるため、道内において複数個所を開催・配信拠点とできるように活動を広げていきたい
- 北海道のエンジニア学生との交流の場となること
- 北海道が広いこともあり、リモートでも繋がりが続いて活動できる形
- もう少し、新規の人に向けた「札幌」での活動を感じてもらえるようにしたい。
- 以前は「はじめて参加したこの勉強会だった」、「この勉強会に参加したことがきっかけで他の勉強会にも参加するようになった、就職・転職を考えるきっかけになった」という声を多数聞くことがあった。オンラインだろうがオンサイトだろうが関係なく、今後も誰かの仕事や生活がちょっと変わる（良くなる）きっかけをつくれるコミュニティを目指したい。
- コミュニティは参加者同士のつながりが大事だと思っているので、オンラインでもやりつつオフラインでの交流もできるコミュニティになっていけばよいと考えています。
- オンラインとオフラインのハイブリッド開催。コミュニティは人とのつながりが重要だと思うので、オフラインの交流は必要かと考えています。オンラインだと使うツールによってはたくさんの人と同時に接続し、うまくコミュニケーションをとれないこともあるため、オフライン交流ができるようにしたいです。
- オンオフハイブリッド開催のベストプラクティスを探りたい
- オフライン・ハイブリットでの開催をしたい
- ハイブリッドかつ快適なイベント運営
- 気軽に運営できるコミュニティを目指したい
- 気軽にリアル開催ができるようになるまで持続させることを目標としています

グラフF

オンラインイベントに参加する際に利用したことがあるものを教えてください。

16件の回答



◇ 他のコミュニティに聞いてみたいこと

今後のコミュニティ活動を検討するにあたり、以下の内容に関する質問が挙げられました。

- オンライン懇親会の実施方法、またはそれに代わる方法
- 今後の（コロナ後を見据えた）開催方法について
- オフライン開催
- オンラインの継続
- ハイブリッド開催
- オフライン・オンラインの同時開催
- オフライン回、オフライン回を別開催
- 活動休止中のコミュニティの活動再開予定と理由
- イベント準備時間の捻出方法（特に子育てとの両立）
- イベントの共催方法

◇ その他のご意見・悩みなど

- 参加者から登壇者、主催者になってもらう方法
- 参加者間の交流も少なくなり、オンラインでも講座型のイベントが増えている。自分たちの活動のきっかけが掴めない
- 勉強会のオンライン開催が当たり前になり、企業や公式ユーザーグループ主催の良質なオンラインコンテンツが溢れている中、地方のコミュニティとして活動することの意義をあらためて考えてみたい。
- 若手や学生は現在の状況をどのように捉えているか、そもそもコミュニティ活動に興味があるのか、どのようなことを期待しているのか聞いてみたい。

○ 本アンケートについて

回答にご協力くださった、各コミュニティのみなさまにお礼申し上げます。

昨年のアンケート結果につきましては、一般社団法人LOCALの公式サイト → [LOCALについて] → [コミュニティ・勉強会情報]ページにある2021年のバックナンバー(<https://www.local.or.jp/wp-content/uploads/2021/06/Handbook-21Osc-210626-01.pdf>)をごらんください。

実施母体： オープンソースカンファレンス北海道実行委員会

実施時期： 2022年5月上旬～5月下旬

実施方法：『北海道ITコミュニティ・ITイベントガイド』掲載のコミュニティを中心に、回答の呼びかけを行い、ウェブフォームで回答いただいた。

回答数： n=16



Article(2):About “LOCAL”

「北海道ITコミュニティ・ITイベントガイド」を発行している
一般社団法人LOCALについて、ちょっとだけお話しさせてください。

「北海道ITコミュニティ・ITイベントガイド」を発行している一般社団法人LOCALは、北海道に根差したITコミュニティの活動の支援、および、コミュニティ間の連携を強めることを目的として活動しているコミュニティ・ハブで、地域コミュニティのサポート、交流促進、次世代人材(学生・生徒)の育成支援を行っています。

◆ LOCALの活動

■ 主催イベント

▽ LOCAL Developer Day

2009年から年に数回、道内で開催しているコミュニティ横断型、地域特化型のIT勉強会イベントで、道内で活動している様々なコミュニティと連携しながら、それぞれの技術や地域の特徴を活かしたイベントを開催しています。

▽ LOCAL Community Summit

2015年からほぼ2年に一度、東京で開催している、LOCAL主催のIT系勉強会イベントです。

■ 運営協力

▽ オープンソースカンファレンス Hokkaido

▽ その他、北海道内で開催される大規模ITイベント

▽ コミュニティの活動支援

- ・ 広報支援
イベント告知、集客協力
- ・ 運営支援
スタッフ派遣、講師調達協力、イベント運営費支援

■ 次世代人材の育成支援

▽ 学生支援

- ・ 学生部
道内各地の高校生、大学生、専門学校生などが、IT技術の話題を中心に交流を深めています。年に一度、学生部の面々が一堂に会する「学生部総大会」では、セミナーやハッカソンなどが開催されています。
- ・ 学生交通費支援
他地域で行なわれているコミュニティ活動に学生・生徒の参加を促進即する一助として、往復交通費の一部を図書カードなどやクオカードで支援しています。
※ 利用をご検討のコミュニティ主催者の方は、 <http://www.local.or.jp>
→ [LOCALについて] → [LOCAL 学生交通費支援制度について] をご覧ください。



<https://www.local.or.jp/>

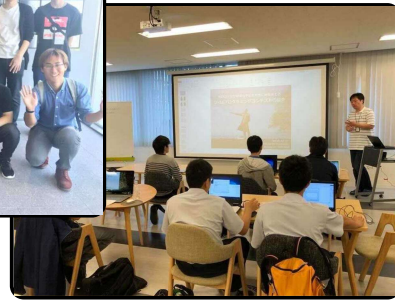


https://twitter.com/local_hokkaido

北海道ITコミュニティ・ITイベントガイド 2022/06 (2022/06Published220624-03)

発行日：2022年06月24日

企画・編集・発行：一般社団法人 LOCAL/イベントクラブ



◆ 会員制度

現在、LOCALには、以下の4つの会員種別があります。

■ 正会員(議決権あり/年会費あり)

社員総会で議決権を持ちます。活動を積極的にご支援頂ける方の加入を期待しています。
(年会費のご負担をお願いしています。)

■ メーリングリスト会員(議決権なし/年会費なし)

メーリングリストで情報を受け取ったり、議論に参加することができます。また、月例ミーティングへの参加も歓迎します。LOCALの活動に興味を持たれた方は、まず、メーリングリスト会員に登録されることをお勧めします。(メーリングリスト会員の登録方法は、<http://www.local.or.jp/about/ml> をご参照ください。)なお、年会費のご負担、および社員総会での議決権はありません。

■ 賛助会員(議決権なし/年会費あり)

メーリングリスト会員の中で、年会費をご負担いただける方です。活動を支援したいけれども、勤務先の規則などにより正会員(社員)になることができない方などを対象としています。社員総会での議決権はありません。

■ 法人会員(議決権なし/年会費あり)

各種特典を利用させていただくことで、学生やコミュニティを支援する姿勢を表明することができます。議決権はありません。

会員制度の詳細は、 <https://www.local.or.jp/about/memberships> を参照ください。



北海道 ITコミュニティ・ITイベントガイド

June, 2022



--- Page. 08 ---

年	できごと
2004	GoDo2004開催 (道内初のコミュニティ主導OSSイベント)
2005	OSC2005Hokkaido開催 (OSC初の地方開催)
2008	任意団体として、LOCAL結成 部活動として、LOCAL PHP部発足 (2013年にSapporo.phpに名称変更して独立)
2009	法人化により「一般社団法人LOCAL」を設立 IPA『日本OSS奨励賞』受賞 LOCAL学生部総大会、LOCAL Developer Dayを初開催
2011	北海道のITコミュニティに貢献された個人、および団体を表彰 する『LOCAL感謝賞』開始
2015	第1回LOCAL Community Summit開催
2015	北海道地域情報セキュリティ連絡会(HAISL)加入
2018	内閣府『青少年のインターネット環境整備に取り組む民間団体 活用事例集』に掲載
2019	LOCAL設立10周年記念行事開催

◇ LOCALを支えてくださっている方たち

LOCALは、会員の方たち(正会員31名(内、理事7名)、賛助会員:3名)や、支援して下さる企業様に支えられて、活動を行っています。

☐ Platinum



☐ Silver

株式会社インセンブル

こだまりサーチ株式会社

☐ サーバー提供スポンサー

さくらインターネット株式会社

☐ ツール提供スポンサー

合同会社 esa